

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：国際教育・協力センター	担当部局：国際教育・協力センター
大項目	7 国際交流（研究科）《全学的な視点》	
中項目		
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。	
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性	
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。	
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）	
小項目	7.0.3 国際教育・協力を適切に行っているか。	
要素	(KG1) 国際理解のための教育 (KG2) 国際協力の実践	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 海外からの推薦入試など入試制度を改革し、学部、大学院において2013年度末に定員の3% (713人) の外国人留学生を受け入れ、国際性豊かなキャンパスを実現する。そのために、宿舎提供システム整備、ワンストップサービスの提供と奨学金制度を整備する。	→外国人留学生数、宿舎提供数、外国人留学生へのサービス部門の整備および奨学金制度改革の有無。	B	B	B		
2. 英語による授業のみで修了できるコースを提供する大学院1コース以上設置し、世界に開かれた大学を実現する。	→英語による授業のみで修了できるコースを提供する大学院数	C	C	A		
3. ダブルディグリー制度を、2013年度末までに5大学院で実現する。	→ダブルディグリー制度を有する、大学院数。	C	C	C		
4. 海外客員教員制度を改革し、2012年度から新制度による外国人教員の受入を2009年度比50%増とし、2件以上の共同研究を行う。	→客員教員制度を改革の有無、客員教授受入数および共同研究数。	D	C	B		
5. 海外留学制度の充実を図り、毎年1名以上の優秀な学生を協定大学等に派遣し、学位を獲得させる。	→派遣学数および学位取得学生数。	D	D	D		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	外国人留学生は2012年4月末現在586人（学部・大学院）と昨年度より50人増加した。外国人留学生奨学金制度については、2011年度に改革し、入学前の採用が可能となった。宿舎は第3の寮として、西宮北口周辺に6室確保した。
目標2	理工学研究科が英語によるコースを設置し、2012年度秋学期から留学生を受入れる。
目標3	理工学研究科（1大学）および言語コミュニケーション文化研究科（3大学）が導入した。
目標4	海外客員教員制度については、2013年度（1年遅れ）の改革となり、新たな制度では英語による全学科目での授業提供を目的にした協定校枠を設けており、本学の国際化に貢献することができる。
目標5	日本学生支援機構の留学生交流支援制度（長期派遣）を通して、大学院への学位取得のための留学を奨励しているが、まだ派遣者が出ていない。また、協定大学等との連携による送り出しについては、着手できていない。
備考	

《評価指標データ》

（特定項目データ）本項目は数量的なデータによる評価（現状分析）が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【全研究科】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	2	2	2	2	3	3	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	2	2	2	2	2	2	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	5	9	15	17	11		累計数	
		外国人留学生	正規	人	58	67	73	84	93	99	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	8	4	7	7	7		・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	7.1	8.5	9.2	10.5	11.0	11.6	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	1.0	0.5	0.9	1.3	0.8		
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	0	0	0	3	3					
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—		累計数	
		人数	長期	人	1	0	1	0	1		・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	0	0	0	1	0		・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
指標5	海外からの受け入れ教員数		長期	人	1	0	0	0	0	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
指標6	海外への派遣教員数	短期	人	1	1	1	1	1		・累計数 ・1年間未満を「短期」	
		長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数	短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」	
		長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)

【全専門職大学院】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	11	12	11	11	12	11	・5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	5	6	6	6	6	5	・5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国 数	国	—	—	—	—	—	—	・累計数	
		外国人留学生	正規	人	7	11	21	33	30	30	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	0	0	0	4	3	—	・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	1.0	1.6	3.2	5.1	5.0	6.2	・外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	—	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—	—	—		
指標4	海外への派遣学生数	国 数	国	—	—	—	—	—	—	・累計数	
		人 数	長期	人	0	2	0	0	4	—	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	0	0	0	1	0	—	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7	—	・海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	—	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	0	2	0	0	0	—	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	1	1	2	1	0	—	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	0	1	1	1	2	—	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	29	32	25	27	26	—	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	0	0	0	—	・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)